

# 上越市立板倉中学校 学校運営協議会たより

第2号 R2.11.4 板倉中学校学校運営協議会事務局

9月10日（木）に第2学校運営協議会を開催しました。令和2年度1学期の教育活動の成果と課題について意見交換を行いました。

## <協議内容>

- 1 1学期の教育活動の振り返り
- 2 小中一貫教育実践校について
- 3 2学期以降の教育活動について



## 主な協議内容

### 1 1学期の教育活動の振り返り

#### (1) 説明の概要

##### ① 1学期の学校評価より（教頭）

- ・臨時休業による学校生活や学校行事の変更はあったが、「学校生活が充実している」と答えた生徒が97%であり、他の項目も概ね高い評価であった。
- ・「将来の目標をもっている」と答えた生徒が71%、保護者は51%であり、目標をもたせる機会を作っていく必要性を感じている。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、今年度は地域の行事に参加する機会がなくなっている。地域に貢献できる取組を模索している段階である。

##### ② 学力向上の取組について（プロジェクト長：丸山教諭）

- ・授業ではほとんどの生徒が意欲的に取り組んでいる。家庭学習では、宿題はしているがそれだけで終わっている様子が見られる。進路学習と連動させながら、家庭学習への意識を高めるための取組を今後も工夫していきたい。

##### ③ 豊かな心を育てる取組について（プロジェクト長：大野教諭）

- ・人間関係作りについて、特に縦の関係作りを工夫しながら、3年生が下級生のロールモデルとなり、板中のよい伝統を引き継げるようにしている。各学級で班長会、生徒会で委員長会を適宜開いて意見交換をさせながら、生徒同士で活動を評価しよりよくしようとする意欲を育てていきたい。地域とどう関わるかについて、現在模索している。

##### ④ 体力向上の取組について（プロジェクト長：諏訪教諭）

- ・「自分で自分の体を見つめる」機会を、健康・食・体力それぞれについて設定している。運動の機会がない時期がしばらく続いたが、昼休みの遊びや部活動の再開、保健体育の授業を通して、徐々に体力も回復してきている。「ボディデザイン」の視点を取り入れ、自分の体や健康を自分で作っていくという意識を高めていきたい。

#### (2) 主なご意見

##### ○ 「目標をもつ」という点について

- ・2年生で行った「人生の先輩に学ぶ」はよい機会だった。このように、仕事につい

てリアルな体験や話を聞く場を設定してはどうか。卒業生を招くのもよい。

- ・子どもたちは身近な人を見て、興味をもつ。親がいろいろな仕事について話すなど、子どもたちが見る世界を広げる工夫が必要ではないか。
- ・「目標」は職業でも、どんな人になりたいかでも、どのような生き方をしたいかでも何でもよい。子どもは「将来」について語る言葉をあまり豊富にはもっていないので親子で進路についてわきあいあいと話す機会を作りたい。

○「地域とのかかわり」という点について

- ・地域行事に中学生が参加する意義は大きい。ただ依頼されたことを行うのではなく、企画段階から参加することで、充実感のもてる取組となるのではないか。将来的に、地域の担い手として子どもたちが地域に残ってもらえるような取組にしていきたい。

## 2 小中一貫教育実践校について（教頭）

○小中一貫教育実践校の取組等について

- ・義務教育期間の学習・生活の教育課程を9年間のプログラムで考え実践していく。
- ・義務教育終了後に目指す姿を小中学校の職員で共有し、共通認識の下で指導にあたる。
- ・今年度は、区内小中学校の校長と教頭で目指す姿や組織について考えをまとめている。
- ・実践に向けて小中の学校運営協議会の合同会議を2月頃に実施する予定である。

○承認いただいた内容

①板倉区の小中学校を、小中一貫校とする。

②代表校長を板倉中学校長 藤田賢一郎、副代表校長を針小学校長 竹田正子とする。

## 3 2学期以降の教育活動について（教頭）

- ・3年生の修学旅行を中止し、「思い出づくり活動」を計画中である。
- ・10月に実施予定の合唱祭は、コンクール形式をとらず、各学級の発表と、音楽家を招いてのコンサートを計画している。当校のピアノは地域の宝となる価値のある物であり、ぜひこのピアノを生かした取組を行いたい。
- ・予定していたスキー学習や板中ロードレースについては、現在実施するかどうかについて慎重に検討している。
- ・夏休みから本格的にトイレ改修工事が始まった。市から仮設トイレを設置していただき学年ごとに使用トイレを決めて対応している。生徒に対しては、不便さに目を向けるのではなく、「トイレが新しくなるのは楽しみだ」という思いをもたせるような話をしている。
- ・トイレ工事や、感染症対策の消毒作業等で、生徒のサポートや職員の業務のサポートが必要な状況となっている。市教育委員会から、介護員とスクールサポートスタッフを派遣していただくこととなった。

## 4 その他、全体を通していただいたご意見

○子どもたちにもたせる「目標」は、特定の学校に行くことをゴールとせず、もっと先に目を向けたものにさせたい。できれば、「地域にいかに関与できるか」という視点も、もたせたい。大人自身もこうした視点を持ち、子どもたちにそうしたことを考えられる機会を作りたい。

○修学旅行が中止となり、3年生は寂しい思いをしていると思う。特別なことはできなくても、毎日の生活が濃密な思い出になるようにしてほしい。